

広島港付近海域の地域的情報

1. 広島港付近海域の特性

(1) 広島港

- ・港内及び周辺海域にはカキ養殖筏が多数設置されているため、走錨事故等発生の際の蓋然性が高い荒天時の錨泊には適さない。
- ・台風が広島港の西側または北側を通過する場合には、南寄りの暴風が連吹するので特に注意が必要。

(2) 厳島港

- ・港が狭く、付近にはカキ養殖筏が多数設置されているため、気象・海象に関係なく、錨泊には適さない。

2. 港則法適用港における港外避難等に関する勧告基準(台風接近時)

(1) 広島港

① 第一警戒態勢(警戒勧告)

⇒ 6時間後に広島港が台風の強風域(風速15m/s以上)に入ると予想される場合

対象船舶：広島港内在泊船

勧告内容：荒天準備を実施し、避泊できる体制を確保。VHF16chの常時聴取。航海当直の配置。AISの常時作動。機関スタンバイ。気象情報収集等。

② 第二警戒態勢(避難勧告)

⇒ 6時間後に広島港が台風の暴風域(風速25m/s以上)に入ると予想される場合

対象船舶：広島港内在泊船

勧告内容：船舶は直ちに港内または港外の安全な場所に避難する。堪航性の不十分な船舶は、係留強化等の流出防止措置を講ずる。走錨防止措置。自船位置の監視等。VHF16chの常時聴取。航海当直の配置。AISの常時作動。機関スタンバイ。気象情報収集等。

(2) 厳島港

①「広島港」の勧告基準に準じて、勧告が発令されます。

3. 注意を要する海域等

広島港内には、広島ガス(株)廿日市工場シーバース、広島港国際コンテナターミナル等重要な施設が存在することから、錨泊には注意が必要です。

緊急連絡先

広島海上保安部(交通課)：082-251-5130

来島海峡海上交通センター(運用管制課)：0898-31-9000

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。